

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月17日
事業名	育児教室・相談事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	3
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	母子保健法に基づき、早期に良好な母子関係を成立させるとともに、ハイリスク児の早期発見を図る				
対象 (誰を・何を)	乳幼児と保護者				
内容	《母子保健法に定められている項目》 ・保健指導：妊産婦若しくはその配偶者又は乳児若しくは幼児の保護者に対して、妊娠、出産又は育児に関し、必要な保健指導を行う。(要保護児童に関する訪問指導、子育て支援が必要なケースの養育支援訪問、ケース連絡、担当者会議等を含む) ・新生児の訪問指導：新生児で育児上必要があると認めるとき、新生児の保護者を訪問し、必要な指導を行う。 ・未熟児の訪問指導：未熟児について、養育上必要があると認めるときは、未熟児の保護者を訪問し指導を行う。 《その他》・育児相談 ・なかよし教室 ・離乳食づくり教室				
根拠法令・条例等	母子保健法10条、11条、19条				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,751	1,492	1,785
	国庫支出金	千円	不明	380	360
	県支出金	千円	182	—	—
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,569	1,112	1,425
	職員人数 (概算職員数)	人			0.77
	人件費計 (b)	千円			3,576
総事業費 (a)+(b)	千円	1,751	1,492	5,361	
事業費内訳 H 25 年度	教室・相談講師謝金：872千円    消耗品：47千円    印刷製本：16千円 新生児訪問委託：850千円				

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① なかよし教室 2歳児	人	212	292	240
	② 育児相談 出生数	人	212	185	200
活動指標 (活動量)	① なかよし教室	回	23	23	23
	② 育児相談	回	12	12	6
成果指標 (達成度等)	① なかよし教室のべ参加数	人	338	535	480
	② 育児相談のべ参加数	人	481	366	240

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	母子保健法により市町村の専門職が乳幼児の保護者に対し妊娠、出産、育児に関する必要な保健指導を行うことを義務付けられている。新生児訪問と未熟児訪問についても同様に義務付けられている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町と非常勤の専門職（保健師、栄養士、歯科衛生士等）により対応することで、必要な対応ができています。要保護児童訪問指導、養育支援訪問については、継続的に行う必要もあるため、町保健師によって実施している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	各種相談や訪問を行うことにより、ハイリスク者の早期発見と育児支援に繋がった。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由	育児相談を開催していることを母子健康手帳の交付時や各種健診時に周知することにより、多くの乳幼児・保護者の参加があり、結果的にハイリスク者の早期発見と適切な継続指導に繋げることができている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成25年度より育児相談の開催（保健師、栄養士、歯科衛生士、看護師）を毎月から隔月に変更したが、乳幼児を対象とした遊び場の開放（赤ちゃんぱんだ）の場を活用して、町職員による相談コーナーを設置したことにより、相談できる場の確保は図れている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 新生児訪問以外の育児支援を主な目的とした相談や教室について、子育て支援事業との関連を整理する必要がある。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
2. 3歳児の発達・子育て支援のための『なかよし教室』の参加人数が年々増加しており、各自の参加期間等に制限する必要がある。また、なかよし教室や海の子山の子（療育相談）と幼稚園・保育園等との連携について方法の確立が必要と考える。
② 平成26年度に着手する事項
子育て支援課との連携により、事業内容の充実・拡大を進める。
③ その他（課題、調整事項等）

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

なかよし教室（母子保健）と海の子山の子教室（療育相談）について、継続した支援となるよう子育て支援課、その他関係機関との情報共有をさらに進める。 乳児期にある母子保健の充実を図るため、子育てひろばと母子保健との連携、要保護児童・要支援児童への対応、その他支援が必要な母子について、関係機関との情報の共有化を強化するため、庁内の関係機関との定期的な打ち合わせを行う。
--